



鉄のグローバル化による日本の危機

中国の近代化によりスクラップの使用量が世界的に増加傾向にあるのはご存知かと思われるが、日本の持つ世界NO1の技術力が脅かされているのはご存知でしょうか？

日本の技術力はご存知のように色々な分野で世界一ですが、**車のボディなどに使われる高級鋼板なども日本でしかできない技術の一つでもあります。**

この技術がある意味奪われようとしています。

どう言う事かと申しますと、25カ国の製鉄所を次々と買収し、今や世界一の鉄鋼メーカーとなったアルセロール・ミタルが次の敵対的買収相手として、世界第2の鉄鋼メーカーである新日鉄を狙っているという噂がある事です。

もし仮に新日鉄が買収された場合、新日鉄の技術力を自分の持つ他国の鉄鋼メーカーに取り入れ、高級鋼板を作り始めることが予想されます。

そうすると**日本で技術を開発させ、需要のある国々で生産させる事も可能**となります。

日本は、食糧、資源の乏しい国であります。全てが他国に頼っている状況となっています。

この様な国が、何故過去に高い成長率を維持してきたかといいますと、開発する技術力とそれを生かした高い生産性によるものではないでしょうか。

日本には、色々な外資系企業が入り、良い意味での日本への貢献もありますが、新日鉄の取り込みは、ある意味**日本の国益が、敵対的買収により損なわれていく**と言えるのではないのでしょうか？

新日鉄以外のJFEや住友金属その他の鉄鋼メーカーが対象となるかもしれません。

是非他国の敵対的買収には断固として戦って、退けて頂きたいと同じ日本人として心より切に思う次第です。

直近の鉄の相場予想

今年は1月から上げ相場一色で、ここ5月で反転、下げ相場となっています。

6月積みの関東鉄源の結果は下げで、これによりこの先しばらくは下げた後横這いの動きとなって行く事が予想されます。

ただメーカー各社も製品価格の上げを行っていることから(鉄筋で7万円台) **スクラップの極端な下げは、この製品価格の上げの支障になると考えています。**

その為、余程海外が下がらない限りは、この高原相場が今年も続くのではないのでしょうか。

6月は、下げの時期(緩やかであると思われる) 7月は横這いか若干の下げの可能性で 8月はお盆前で反転上げに動き出すのではと個人的に予想しています。

この一連の動きに変化があるとしたら、韓国の現代製鉄の動きと、それに対抗する東京製鐵の防衛買いによる物と思われる。

以前から言われていた中国の動きですが、この所は影を潜めています。

日本から輸出される非鉄付き雑品ですが、このほとんど(個人的には鉄分90%以上なのは?と思っています)が鉄であり、ここから鉄スクラップが回収されることも影響しているのではないのでしょうか?(日本以外の雑品からも当然鉄は回収されます)

このようなことから、今では中国より**韓国・台湾の鉄スクラップの購入意欲に東京製鐵が絡んでくると言う三つ巴の戦いがアジアマーケットの価格を左右しているのではないのでしょうか?**

さて価格はこの先、底値は確実に高くなっているのですが、動き方は例年のような動きか? はたまた新しい動きになるのか、見守っていきたいと思います。

盗難品

最近の原料の価格高騰により盗難が増えています。

弊社のお客様でも盗難に遭われたという方がおります。是非皆様も、大切な資産を盗難に遭われませんよう対策をお勧め致します。